

ワークショップの感想

渡部 耀

僕はワークショップを通して、学んだことがいくつもあります。

生徒代表の発表では、代表の生徒が行ってきたことを知り、その企業で学んだこと、その考察を学べて、とてもよいと思いました。

二つ目は、パネルディスカッションです。生徒代表の三人とイース総支配人の高柳さんと皆葉自動車の皆葉さん、司会の野田先生

の五人で、前でディスカッションをしました。そのときに、大人はなぜ働くことにやりがいをもつのか、かかってよかった、と思いました。

次に、それぞれ企業のごとに集まり、その企業の方からお話を聞きました。

一つ目は、大和ハウス工業の方から話を聞いたきました。

家を建てる流れは、まず計画の間取りを決めさせます。次に設備と仕様、色を決定します。

す。これは、実際にお客さんと話し合い、ゆ  
 くりと決めていくそうです。  
 次に、最終図面を完成させて、いよいよ建  
 築にとりかかります。  
 資格はいろいろあり、国家資格は一級建築  
 士、二級建築士など様々な資格があります。  
 二級建築士は、建築の際に高さの制限がある  
 そうです。一級建築士の場合それが無くな  
 るそうです。一級の受験資格は、建築関係の  
 大学卒業だと二年、二級建築士の場合四年現  
 場で経験を積み資格が与えられるそうです。  
 二つ目は、ピザハットの企業の方からお話  
 をいただきました。  
 ピザハットはアメリカのある兄弟が始め  
 たんだん発展して今につながるそうです。お  
 店の配達エリアは30分で届く範囲とわっ  
 ているそうです。ピザハットは、ケンタッキ  
 ー  
 かやっ  
 ているそうです。  
 このワークサットを通じて学んだことを  
 生かし、将来に役立てたいと思います。

ワークショップの感想

広瀬 智美

私は、ワークショップで学んだ事がたくさんあります。

介護の事は一人の命の大切さを教えてもらいました。お年寄りになると必ず誰かに助けてもらわないと生活できないそうです。

人は誰も一人では生きていけない。けれどもお年寄りはお年寄りの楽しさがあるという事を教えてもらいました。また施設の中の部屋

は、普通の家とかおらが、自分で部屋の中をきれいにしたり、カーテンの色なども変えられてすごいとおもいました。私が想像していたよりもすごく良い施設でした。

保育教員の事は、どういう人が保育士に向いているかとか専門学校でどういう勉強してなどいろいろと色々な事を学びました。これも以外と楽しそうに見えてたいへんな事もあるそうです。

子供達とのコミュニケーションをとらないといけないし、けいしけこうたいへんです。子供達の



笑っている顔を見ると元気がどるそうぞす。  
 子供達が自分ぞ作ったおもちゃを見せてもら  
 いました。見るにすぐく上下ざびりしま  
 した。保育教員は、それなりにっらい事もた  
 くさんあります。が、とてもやりがいのある仕事  
 だと私はおもいました。  
 パネルディスプレイは、二つの方々  
 が仕事について話してくれました。とても話  
 を聞いていて、楽しい事を話してました。が、  
 それは全部私達の将来にすぐくかがある事だ  
 した。仕事の大切さや、お金をもらう大切さ  
 を知りました。  
 このようになつてサミットは、とても  
 たくさん学びました。私はまだ夢がないのぞ  
 これから見つけていきたいとおもいます。  
 自分にっ、この良いきっかけになりました。



ワークショップを行って

宮沢 真帆

二月十九日に行われたワークショップでは  
職場体験で教わった、それ以外の事をパブリ  
ックでまとめて発表したり、生徒代表がデイバ  
イトを行って意見をまとめたあとグループ別  
ディスカッションを行いました。

第一部では「保険」をテーマにして鯨井  
会計グループさんに教えてもらいました。

鯨井会計グループは、税務一般のほか、相続

・医療管理を取り扱っているそうです。

まず、保険とは①自治体などが運営する公

営保険 ②民間が運営する私営保険の2つが

あるそうです。ほかにも保険には、健康、年

金、介護、労働、船員、損害、生命といった

多くの保険があるそうです。その中でも、生

命保険、損害保険、社会保険といったものが

多く知られるようです。損害保険とは物が壊

れて使えなくなってしまう時に保険が付き

ていると、その保険で壊れたものを直しても

ら。たりできる保険だそりです。ほかにも  
 ペットなどの動物に保険を付ける人もいると  
 教えてもらいました。

第2部では 料亭「霞月楼」で料理を作る  
 ということをテーマにして学びました。

霞月楼で働いている人は 主に日本料理の  
 フルコースを作る仕事をしています。料理を  
 作る人を板前さんというふうですが、板前は  
 料理だけではなく飾る季節の花など、伝統的  
 なことも勉強していかなくてはならないそう

です。実習では 刺身の中に入っている細い  
 大根の作り方を教えてもらいました。料理を  
 作る人も食べる人も大切なのは、ついただけ  
 ます。しつこそうさずでした。を言うことだ  
 そうです。最後には 板前さんが作ってくれ  
 たスシをいただきました。  
 自分がどんな仕事につくかわからないけど  
 ワークサミットでは、多くのことを学んだと  
 思います。

ワークサミットを終え

大久保 茜

私は、ワークサミットでのパネルディスカ  
 ショーで自分が働きに行っている所の説  
 明を聞きました。普段の生活では聞けないこ  
 とが聞けました。スターバックスの仕事や  
 お家でも簡単にできるおいしいコーヒーの作  
 り方やとぎ方、動物病院では、院内のそう  
 いや犬のお世話などのどんな仕事を行って  
 いるのかよく分かりました。

次に、ゲルマン別パネルディスカッション  
 では、特養 憩いの里と上郷幼稚園  
 のお話を聞かせてもらいました。まず、特  
 養 憩いの里では、仕事内容やおじいちゃん  
 、おばあちゃんの日常生活、部屋などを教  
 えてもらいました。仕事内容は主に、食事や  
 入浴・排泄を行って、いるそうです。また、日  
 常生活では、私たち中学生も行っている  
 訓練や運動会、友だちや家族などで開くク  
 スマス会、その他にクラブ活動など行っ  
 てい



るというところがよく分かりました。おじいちゃん方が住んでいる部屋のベツトは、介護用のベツトではなく、私たちが使っている木製のベツトでした。それにはびくくりしました。次に、「上郷幼稚園」です。先生になるには、短大や専門学校に行かなくてはならないのと、そこでも大変だと思いました。それに、ピアノもひけないとまずいので、幼稚園の先生になるには、やっぱり大変なんだと思います。

ニつのお仕事の話をきかせてもらい、思ったことは、どちらの仕事についても資格やめんきよが必要だということが分かりました。仕事にっいてきちんと考え、将来にっいても考えたいと思います。

ワークショップを通じて  
菊地笑理子

私は、ワークショップを通じてたくさん  
のことを学ぶことができました。

一番最初に行われた「職場体験学習・報告  
発表会」では、去年の夏に職場体験をし  
てみんながどんなことをそれぞれ学んだ  
のかを聞くことができたこと以外にも代表  
者の発表を通じて「責任」や「笑顔」の  
大切さなどを改めて感じることもでき  
ました。

次に行われた「パネルディスカッション」  
では、ロイタリークラブの高柳さんや皆葉  
さん生徒代表の佐野君と田中さんの意見  
を聞き、そういう考えもあるのだという  
ことにも気が付かされました。私が一  
番印象的だったのは、皆葉さんがおっ  
しゃつていたことと、「仕事を楽しくむ。  
」という意見です。私は今まで働く  
ということはお金を貯めて生活したり誰  
かのためになるように働くという印象  
しかなく、たけど皆葉さんのその意見  
を聞き「楽しむ」

ということも確かに大事だと思いました。楽  
 しむということができなければ仕事のやりが  
 いも感じれず続かないということも学びまし  
 た。自分が将来どんな仕事につくかはまだわ  
 からないけれど、仕事についたときにどんな  
 私点で取り組んでいくかわかっただよかつたぞ  
 あり。

そして最後に行われた「グループ別デイス  
 ャッション」では、いろいろなジャンルの職  
 業の方たちが来てくれたことも凄いいと思いま

した。私が最初に聞いた「特養 徳川の里」  
 の方たちはたくさん資料などもくださり、  
 質問にとてもいいに教えてくれたりパソコ  
 ンを使っこのわかりやすい説明をしてくれたりし  
 ました。今までの老人ホームの印象とは全然  
 違うことでも明るく楽しい場所ということを  
 実感しました。「上郷幼稚園」の方も資料や  
 実演など楽しめながら学ぶことができました。  
 ワークサミットを通じて自分の将来を改め  
 て考えることができ良い経験になりました。



ワークサミットをおえて

小池 七夕夏

私が、ワークサミットをおえて感じたことは、仕事の大切さです。生きていくうえで、私もがなんらかの仕事をしなくてはならないからです。私はこのワークサミットで、仕事の内容を学びました。

まず、二つ目に、薬剤師の仕事です。薬剤師は、主に薬剤の取扱い、薬事業務を司る専門職であることがわかったし、仕事内容は、

師の処方せんに従って薬を調剤することなどです。それに、薬剤師は国民のために仕事をしています。職場が薬局だけじゃないこともわかりました。

二つ目に、物質・材料研究機構の仕事とかをおしえてもらいました。仕事内容は、物質

・材料科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、研究開発成果の普及及びその活用、研究の促進、機構の施設及び設備の共用、研究者・技術者の養成、及びその資質の向上など

です。材料は鉄やプラスチックだそうです。

一九八五年八月十二日に日本航空がつら

く事故をおこしてしまい、その原因が金属疲

労でした。このようなことがもう簡単におこ

らないようにいろいろな丈夫な材料をつくる

のが物質・材料研究機構だと言っていました

私は、このワークショップを通じて、人が

仕事をすることには生かされるためでもあるけど、

違う人々のためだとも思いました。また、こ

うゆう仕事はきっと辛いと思うけど、みんな

その仕事に、やりがいや楽しさを見つけてい

るんだとも思いました。私も、このワークショップ

を通じて通じて自分の将来にも役立てていき

たいと思います。また、辛さの中にも、や

りがいや楽しさを見つけられる仕事にめぐり

あいたいとも思いました。

ワークサミットを終えて

既正之

僕にワークサミットを終えて働くこと

だいたいだと思いました。僕が第一希望が人事

労務で第二希望が料亭霞月桜です。

第一希望の人事労務では、保険の種類など

いろいろなこととを学びました。保険には、健康

保険、年金保険、介護保険、労働保険、社会

保険、損害保険、生命保険があることを学び

ました。生命保険は生かかわる保険で損害保

険は壊したものをその壊した人のがかりに私

どもらえる保険だといふことを学びました。

障害保険は、国に物社あり、生命保険は物社

あり、したくさんあり、生ごいと思ひました。

第二希望の料亭霞月桜では、日本料理を作

るには何年も修行するのだから、人ならん

思ひました。板前は、お刺身を作する人、煮物

を作る人、焼き物を作する人、それを持する

決められたこととを学びました。そこで自

分が担当する食べ物に責任を持つて作らな



水辺ならなくしてたいてい人だと思ひました。工  
 た板前及料理の味だけだけでなく、それを盛る器  
 戸、料理を作る板前はよさに料理の総合芸術  
 家だか、こゝを思ひました。最近では女の  
 板前さんも多くなつたらしいです。板前に向  
 いてゐる人は、まず食への好みや人の料理  
 を作るのか下の手でも食べることに何より好み  
 ません。人が向いていてまた将来自分の店  
 を持つた方がいい人は、料理で基本をこなす  
 り修行をするのか、いいらしいです。僕がっら  
 ぶきを体験してても難しかったのです。最後  
 に、お返しを急かしました。よてもお返しが大  
 くり、僕はワルクサミットで人事労務と料  
 亭霞月桜をがつてたか、たて思ひました。これ  
 と将来はいいかしていいかな。と思ひました。と  
 てもお返しが大くりです。

「ワーカーミット」を行って

高橋 唯衣

私は、ウルイポ別デイスカップシヨウで薬剤

師と研究員の説明を聞ききました。

薬剤師では、A B C ドラッグ アンド ファ

マケアの人の話を聞きました。薬剤師の方の

中には厚生労働省で働く人や、化粧品などの

製造や販売を行っていらっしゃる人がいることが分

りました。また、チェットと変わった仕事では、

臓器移植コーディネーターや美容、理容専門

学校の講師といった、一見薬剤師には関係の

ないような仕事があることには、とても驚き

ました。それから、薬の恐さについてを教え

てもらいました。本来、薬は病気を治すため

に処方されますが、その人の体や症状に合

わなかったりすると、逆効果で、副作用が起

たりするそうです。その副作用がとても風

邪に似ている症状で、気ががずに、死に至るこ

ともあるそうです。だから、薬剤師は医者と

同じくらい責任のある仕事だと分かりました。

た。た少量でも命を奪うかもしれない薬はと  
ても恐いものなんだと知ることできました。  
研究員では、(独)物質、材料研究機構の人の  
話を聞きました。もろ一つ目には一九八五年の  
飛行機墜落事故についての話です。この墜落  
事故では、約五二〇人もの人が死に至りまし  
た。この事故の原因は圧力隔離を止めている  
たぐさんのリベット穴が破損していたことで  
した。それも、大きなき裂ではなく、とても  
小さなき裂でした。そんなき裂が、あんな大  
きな事故を巻き起こすなんてとても恐かっ  
たです。どんな小さな傷でも侮れないと思いま  
した。材料は、一度疲労すると元には戻らな  
いそうなので、物作は大変なんだなあ、と思  
いました。

今回学んだことを、将来に生かせたら良い  
なと思います。



ワークショップを終え

四組 倉持 里帆

二月十九日に行われた、ワークショップの仕事をあつらひすることの大切さや、いろいろな仕事の内容がよくわかりました。そして、働いていくのに、一番大切なこともわかりました。その、一番大切なこととは一体何か？と思っていました。それは、あいさつです。あいさつといふもいろいろありますが、サービス業だったら、

「いらっしゃいませ」や「ありがとうございます」など、客に対しての基本的なあいさつをこめると、言うあいさつと、ただ口だけで言うあいさつの違いは大きくかわってきます。その、ちょっとした違いでも、客の態度はかわってきます。そして、客に「ありがとう」と言われると、この仕事をやっていくよかったです。嬉しくなるそうです。

自分達が、学校や家で生活している中で、

心をこめてあいさつをする回数には、少ないと思  
いいます。

自分が住んでいる家は、親の愛情でできた  
このワークサミットでおそわりました。

なぜ、愛情でできてくるのか、不思議に思  
っていました。よく考えると、親が一生懸  
命働いて、貯めとお金で建てた家だから愛情

でできた家なんだなと思いました。

そんな親に心をこめてあいさつをしたこと  
があるかと聞かれました。自信を持ってあると

は答えられないと思います。

だから、今度、働いて帰ってきた親に、  
ごくろう様」と言ってみようと思います。

今回ワークショップでは、いろいろなこと  
を学びました。一番大切なあいさつの仕方

を教えてもらった。たよな気がします。そのこ  
とを忘れないように、生活していきたいと思

います。

ワークサミットをやつて

末松 花菜

私たちはワークサミットを知らう、学ぼう  
働こうに参加しました。

ワークサミットでは、パネルディスカッション  
をしました。パネルディスカッションで  
は、生徒代表2名と、ロリタリクラブの2  
名で行いました。実際に働いている人に質問  
して働くことについて考えを深めました。

次に、グループディスカッションをしまし

た。第1部では、エスビルドの皆さんによ  
る非破壊検査についてディスカッションをし  
ました。始めは非破壊検査という名前前の意味  
すら分からなかったのですがとても興味がありま  
した。話を聞いてみると今までに聞いたこと  
があるようなものでしたが、知らないことの  
ほうが多かったのです。勉強になりました  
あと、実際に検査に使っている温度が分かる  
カメラのようなものがあったので楽しかった  
です。



第2部では、イーアスつくばの総支配人の  
 方とデイスカッションをしました。イーアス  
 つくばはどれくらいの高さなのか、名前の由  
 来はなにかなどについて聞きました。イー  
 アスは近くでよく行くシヨップセンター  
 なのによく知っていました。改めて建物の  
 面などを知らることができました。

このワークショップを通して、いつもはあ  
 まり考えない職業のことについてくわしく知  
 ることができました。それに、実際に働いて  
 いる人と仕事についてたくさんしゃべること  
 は初めてだった。とても新鮮でした。これ  
 からの将来についてよく考えることができた  
 のでよかったです。と思います。

ワ  
ー  
ワ  
サ  
ミ  
ッ  
ト  
を  
終  
え  
て  
こ  
い  
。

小  
林  
里  
美

私  
は  
ワ  
ー  
ワ  
サ  
ミ  
ッ  
ト  
で  
建  
て  
物  
の  
こ  
と  
が

動  
物  
の  
事  
が  
分  
か  
り  
ま  
し  
た  
。

建  
て  
物  
の  
事  
で  
は  
と  
も  
思  
わ  
な  
い  
。

く  
ま  
し  
く  
話  
し  
て  
く  
ま  
ま  
し  
た  
。

で  
で  
き  
て  
い  
て  
任  
事  
に  
命  
を  
か  
け  
て  
い  
る  
こ  
と  
が

分  
か  
り  
ま  
し  
た  
。

こ  
の  
は  
悪  
王  
の  
美  
し  
さ  
が  
あ  
る  
が  
ら  
に  
教  
え  
て

く  
ま  
ま  
し  
た  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

で  
す  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

そ  
の  
後  
に  
吸  
う  
タ  
バ  
コ  
は  
と  
も  
お  
い  
し  
い  
。

にやりました。

動物の事では、動物と接するの  
に大切なお事

に、注意しなれば、いろいろ事が  
分かるかもしれません。

だ、などの人間より小さい動物は、  
頭をおな

で、時に「か」から「あ」で  
くりしちうか

ら、ゆっくりに首をたぐりか  
ら「あ」で「あ」で「あ」

る、「こ」が「かりました」。  
ほめ「り」、「しか」

りする時は、声の「あ」を  
変えるのが大切

で、「動物と仲良くなるには」  
「こ」「こ」「こ」「こ」「こ」

「こ」「こ」「こ」「こ」「こ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

ある時は、人間に「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」

「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」  
「あ」「あ」「あ」「あ」「あ」



ワークショップを終えて

森田 佑樹

僕は、このワークショップを行って感じた  
ことがいくつもあります。

まず、自分が聞いた職業は不動産関係の人  
と、研究員の人達の話しを聞きました。

初めに、不動産・司法書士・測量設計の人  
達の話しを聞きまもた。

この職業の人達は「計算が必要、君たちの  
やっている勉強が生かされるかもしれない」

と言っていました。そして、とにかく、その  
家を異ぶ人と家のことをしつかり考えて、サ

ホートしていると言っていました。人と家の  
ことも考えてサホートしてくおてることが、

ここで分かりました。

次に研究員の人達の話しを聞きました。この研  
究員の方は、ロケットの打上げで落下したり

ケツなどの研究の話しをここでしていまし  
た。まあ、このロケットの壊れた部分を研究

しているのですが、材料は、すぐには回復し

ないということ、落下して壊れた部分を研究  
 し、またより良いロケットの材料にしていく  
 と言うことをしています。また、材料を使い  
 続けでも安全かもし調べていると言っているま  
 す。ロケットには、センサーが各部分に付い  
 ているところが壊れたかを知り、調下次の打ち  
 上げに生じているそうです。あと、いくぶん細  
 い傷でも、壊れる原因になっていることが分  
 かりました。  
 コーポレーションの少しの傷でも壊れてしま  
 うのだなと思  
 思っていました。  
 ここまで二つの職場の人達の話を聞き  
 たい人ためになったと思っていました。この  
 ワークサミットを通していろんな話を聞き  
 その中で職業をや。アークポイントには、あ  
 いさ  
 つ、真剣に、あと誰かは、楽しくやることと  
 も言っていました。こちらの話しなどを大切  
 に、これからの経験に役立てればなと思いま  
 す。